

Goals of Active Learner Course

アクティブラーナーは、アイデンティティーの確立と自他を思いやる心を養うことを考慮して書かれたテキストと、子どもたちの心の栄養となる海外の絵本をふんだんに取り入れて、確かな英語力を養うコースです。また、国際人としての資質を問う「国連英検」のジュニア版「国連英検ジュニア・テスト」の認定コースとして、1年に1度の受験がカリキュラムに組み込まれています。お子様がたは、ステップアップの確かな手ごたえを感じながら、将来国際社会で通用する資質を蓄えていくことでしょう。

推薦文

2008年に改訂された学習指導要領の主たるキーワードは、「生きる力(zest of living)」です。この言葉は、約20年前から文科省が初等中等教育で養いたい力として掲げてきました。日本の子ども達に、小学校から zest of living を育てほしいと願っているのです。'zest' とは、'the quality of being exciting, interesting and enjoyable' という意味です。すなわち、「何かにワクワクし、関心をもって楽しめる資質」のことです。生きる力を育む第一歩は、何かに熱中し楽しむことです。'zest' が芽生えれば、生きる力の源である主体性(アイデンティティー)も育まれます。日本の初等中等教育における国際教育では、この主体性を初めとして、自己決定・行動力や共生の心(思いやり)から成る国際コミュニケーション力(資質・能力)を育むことを目標としています。

KIDSWORLDのActive Learnerは、英語によるコミュニケーション活動を通して、この「アイデンティティー確立のための積極性」や「自他を認める共生の心」等を養いながら、最終的には世界にはばたき、自在に駆け巡る子どもたちを育成するための国際・英語教育カリキュラムです。本教材は、世界に向けて自信をもって自分を表現し、世界の人々を理解できる広い視野をもつ人間に育てほしいという願いを込めて開発されました。

右脳から左脳の発達が盛んになる「小学生コース」は、友達や先生と自分の気持ちや考えを積極的に伝え合う楽しいコミュニケーション活動を通して、英語力だけでなく国際コミュニケーションには不可欠な「自己決定・行動力」や「相手を思いやるソーシャル・スキル」を養います。

Active Learnerの年齢発達に応じた国際・英語教育カリキュラムで、「生きる力」につながる国際コミュニケーションの素地と英語によるコミュニケーションの基礎力を養い、世界にはばたくお子さんを育てましょう！

渡邊寛治
文京学院大学 同大学院 教授
国立教育政策研究所名誉所員

International and Creative Programs by Pigeon Hearts